

北九州市開催 <北九州ミニ焼きうどんラウンド2> H26.5.17(SAT) 北九州市立企救丘小学校

北九州ミニ焼きうどんラウンド2が開催されました。

【参加者：小学校教職員 14 名、中学校教職員 4 名、指導主事 1 名、大学教員 5 名（岩手、佐賀、熊本、福岡、山口）、日田市から小学校教員 2 名、鹿児島県から小学校教員 1 名、栃木県から指導主事 1 名、千葉県から中学校教員 1 名、学生 7 名（3 名） 合計 36 名】

1 その2の経緯

4月のミニ焼きうどんラウンドに引き続き、清水先生のご厚意で、北九州市で単元構造図を活用した「指導と評価の一体化」の勉強会【その2】の開催となりました。前日までは、子どもの体力向上指導者養成研修（西部地区）が福岡市で開催され、福岡明太子ラウンドもその内容をシェアする形で開催されました。その引き続きで北九州に足を伸ばしていただいた方やそれとは別に、遠方からおいでいただいた方など、今回も多くの方の参加がありました。

2 岩手大学 清水 将 先生による講義

前回は、主にAゾーンの作成などを通して、指導要領解説に示された内容の理解を進めました。その引き続きで、清水先生から学習指導要領の構造や指導と評価に関する基礎的な話をさせていただきました。特に、「評価の機能」や「学力と評価」、「指導と評価」について講義が行われました。

そして、今回のメインであるBゾーンの作成を通して、考えたい内容について説明がありました。「単元のイメージづくり（2年間の枠組みのデザイン化）」「内容の配列」「指導場面と評価場面の設定」などについて、ワークショップと講義を織り交ぜながら進めていただきました。

**3 単元構造図作成を行いながらのグループワーク**

今回も、清水先生自作の付箋紙を利用した段階的・張り替え作業を取り入れた単元構造図作成を行いました。参加者は、校種や立場が入り混じるグルーピングを行い、活発な議論を重ねました。議論の中では、やはり具体的な児童・生徒や学校のイメージができないと考えるにくいということで、グループによっては、児童生徒像を絞っての検討や学校規模を考慮して、2年間の枠組みを柔軟の取り扱う等の具体的な動きが見られました。

校種や立場、年齢層など分けたつもりでしたが、若い方の多くなったグループでは、具体的なイメージに結びつかず、苦勞する場面も見られました。また、指導内容の中で、思考・判断を指導する方法や評価する方法は難しく、その設定時期等が議論されたグループもありました。

4 振り返り

最後に、各グループでの振り返りを発表しました。「2年間の内容の系統性は、学年進行や担任の変更でつながる心配である。」「子どもの実態から入っていくと作業が進みやすかった。」「単元構造図は、難しいが次第に理解できるようになってきた。」「具体の授業場面に落としていくところが大切である。」等の意見が出されました。

5 「北九州ミニ焼きうどんラウンド」の第3ラウンドのお知らせ

○ 日時：平成26年6月28日（土曜） 今回のラウンド「北九州ミニ焼きうどんラウンド」の第3ラウンドを行います。

○ 内容：「指導と評価の一体化」 ～ 具体の評価の方法等について～

講義と演習（体育館での模擬授業を可能であれば行う予定です。）

○ 詳細は、改めてHPでupしてお知らせします。（清水先生ありがとうございます。）

（報告：青木）

